

2025年12月12日  
株式会社しわく堂

## 1年を代表するリノベーション作品に選出するアワード リノベーション・オブ・ザ・イヤー2025

しわく堂が香川県内で手がけた物件が  
施工費800万円未満・無差別級の2部門で入賞  
1作品が審査員特別賞受賞



リノベーション・オブ・ザ・イヤー（以下、ROY）は、リノベーション協議会が主催するリノベーションの魅力や可能性を広く発信するためのアワードです。審査員は全て住宅・建築系メディアの編集長らで、多数の作品から選び抜かれた受賞作品・ノミネート作品を見れば、リノベーションのトレンド、最先端がわかります。

また今年のゲスト審査員は、漫画『魔法のリノベ』の作者 星崎 真紀さんでした。

このたびROY2025にて、株式会社しわく堂（所在地：香川県三豊市、代表取締役 平宅 正人）が香川県内で手がけた2作品が入賞し、うち1作品が審査員特別賞「シングル+1ハウス・リノベーション賞」を受賞しました。



RENOVATION  
OF THE YEAR 2025

審査員特別賞

シングル+1ハウス・リノベーション賞

## 猫と私の『Purrfect Meow-zy』



30代シングル女性が猫と暮らすための住まいです。将来のライフイベントによる住み替えも念頭に、取得コストやリセール時の「資産価値」を備えたリノベ向き中古物件探しからスタート。中心市街地にある勤務地の最寄駅から2駅以内、住まいも最寄駅から徒歩5分圏内が条件でしたが、治安面もあって物件探しは難航。そこで提案したのは新築建売住宅を部分リノベして暮らす方法。適法な新築物件は、耐震性はクリア。断熱性能の評価はなかったですが、弊社にて再度検証し、断熱等級4相当であることを証明。住宅ローン減税対象額の引き上げもできました。建売住宅はデザインや間取りの個性は少ないですが、性能・品質は悪くありません。仕入れ等の企業努力によって成し得たローコスト住宅ですから、私たちが同じ仕様で計画しても価格では及びません。建売メーカーと、あったらいいなを提案するしわく堂によって実現した「いいトコ取り」の夢のコラボ住宅なんです。



## 審査員講評 漫画家「魔法のリノベ」作者 星崎 真紀

今後増えると思われる施主層、シングル女性プラスワン（猫）の施主が提案されたのは、新築建売住宅を買い、部分リノベをするという選択肢。費用を抑えるため、また広くはない面積の中で施主の夢と希望を実現するためにプラスされたアイデア達はどれも楽しくワクワクするものばかりだ。

大きなソファを置きたいけど狭いんです

→それなら小下がりを作って背もたれクッションを置きましょう。

冬には猫ちゃんが喜ぶ炬燵も置けますよ。

玄関がちょっと暗いんです

→それなら境の壁を撤去して棚を作りましょう。

棚の裏とリビングドアをガラス張りにすれば玄関も明るくなり、棚板を何枚か大きく突き出せば猫ちゃんの居場所にもなります。帰宅したときに、迎える猫ちゃんの「おかえり」って姿がガラス越しに見られますよ。

そんなやりとりが目に浮かんでくる、プラスワンアイデアの魅力に溢れたリノベーションだ。

既存I型キッチンにL型にトランスフォームするなど、予算を絞りながらも施主が喜ぶアイデアを次々と繰り出し、既成建売にプラスワンして付加価値をつける方向性を魅力的に見せてくれたことを大きく評価したい。



Before



After



部門	800万円未満	間取り	3LDK
費用	790万円（税込）	形態	自由設計リノベ
性能向上リノベ実施	<断熱性能> 断熱・一次エネ等級4(適合証明をした)		
	<耐震性能> 該当なし(R6.1月新築 検査済証取得)		
費用に含まれるもの	水まわり / 居室・その他		
施主支給設備（費用に含まれないもの）	ブラケット照明、造作家具用のつまみ		





受賞作品ページ

<https://www.renovation.or.jp/app/oftheyear/2025/2236>







入賞

## 大正町家をアップデート 門前町のまちやど 『風 NAGI』



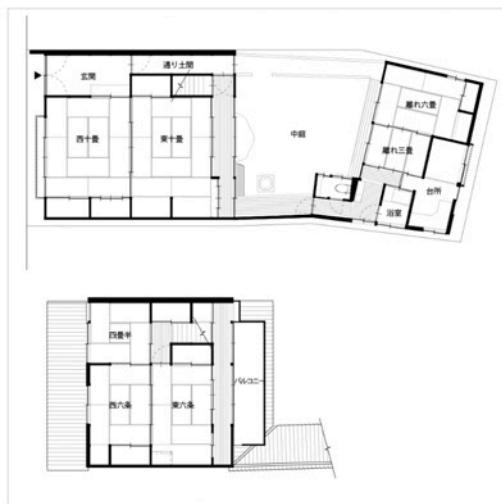
旧高松藩主・松平氏の菩提寺 法然寺へと続く門前町のお成街道沿いに建つ大正7年（1918）建築の町屋を改修して宿泊施設へコンバージョンするPJ。

前所有者との縁がつながり、町屋を引き継ぐことを決めた宿主の要望は、大正期建築の間取りや空間構成、瀟洒な細部意匠を活かしつつ、讃岐の魅力が詰まった門前町のまちやどへと改修すること。「寒くてしょうがない」が良しとされてきた古民家ホテルの性能アップをいかに図るか。

後世へ引き継ぐために大幅な改造をよしとせず、「ミニマムインターベーション(最小限の介入)」と「リバーシビリティ(可逆性のある足し算的な改修)」の考え方で改修計画を立て、浴室・厨房等の必要な設備は、増築されていた奥側建物を積極的に改修して整備。

一時は「まちの交流施設」として利用され、地域の方に馴染み深い建物。改修後のお披露会で「どこが変わったか判らない」という嬉しいコメントも飛び出した。

Before



After



部門	無差別級	間取り	一棟
費用	2600万円（税込）	形態	自由設計リノベ
性能向上リノベ 実施	＜断熱性能＞ 天井+床：断熱材+気密シート、建具複層化		
	＜耐震性能＞ 上部構造評点:改修後0.7		
費用に含まれるもの	家全体 / 水まわり / 居室・その他 / 屋外 / 断熱改修		
施主支給設備（費用に含まれないもの）	創作ミラー「Aji Glass」 木桶風呂 ペンダント照明		

受賞作品ページ

<https://www.renovation.or.jp/app/oftheyear/2025/2241>



【お問合せ・画像貸出しの連絡先】

株式会社しわく堂：平宅 正人（ヘイタク マサト）

〒769-1611 香川県三豊市豊中町比地大1680-4

TEL：0875-23-6535

E-mail：[info@shiwakudo.com](mailto:info@shiwakudo.com)

HP：<https://shiwakudo.com/>



## 株式会社 しわく堂 (香川県三豊市豊中町比地大1680-4)

建築設計監理・デザインコンサルティングを主軸に暮らしの中の「あったらいいな」を発見・提供する“暮らしづくりカンパニー”として不動産活用におけるマーケティング、商品企画・商品開発からCI、VI制作、広告戦略立案などを総合的に手がけています。また自社事業として、「子育てをもっと楽しく」をコンセプトとした親子カフェ「寝転がれるお座敷buffet おむすび座」の運営や、三豊・観音寺の民間企業を中心とした22社が共同出資をして運営する一度入ったら卒業できない市民大学「瀬戸内 暮らしの大学」に参画しています。

実績例：寝転がれるお座敷buffet “おむすび座”、(三豊市)、薪火グリル付きゲストハウス “Ku;bel”、(三豊市)、高松市街を臨むレンタルスペース “絶景劇場”、(高松市)、泊まれるショールーム “積屋”、(三豊市)、多世代交流介護福祉拠点 “ROOP”、(大阪市)、大正町家をアップデートしたまちやど “凧NAGI”、(高松市)ほか

<https://www.shiwakudo.com/>

## 平宅正人 | クリエイティブディレクター、一級建築士

株式会社 しわく堂 代表取締役  
一般社団法人 創造遺産機構 理事

1984年 観音寺市生まれ。

山口大学工学部感性デザイン工学科卒業。

築設計を主軸とした「しわく堂」を設立し、クリエイティブディレクターとして事業戦略の立案から商品企画、デザイン、PR戦略まで、BtoBのトータルな伴走支援を手がける。2020年 文化財建造物の保存と活用に関する事業をワンストップで手がけるHERITAの設立に参画し、国指定重文 林家住宅(岡山県)を宿泊施設等に用途変更した「awakura」を皮切りに、各地で文化財建造物の保存・活用のPJを手掛けている。

